今週（3月3日から3月7日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.476～0.477%が中心となった。無担保コールO/N物の加重平均レートは、3日(月)は0.477%、4日(火)～6日(木)は0.476%となった。7日(金)は3日積みとなったものの、概ね横這い圏での出会いが中心となった。ターム物に関しては、1～2W程度の短い期間で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、3日(月)に2年債の発行や税揚げの前倒し、財政資金の回収などの影響により527兆円台半ばまで減少してスタートした。その後も税揚げや年金保険料の揚げ、10年債発行の影響による大幅な減少が見られた結果、5日(水)以降は520兆円程度での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね0.45～0.50%程度での推移となった。SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが入札を通じて水準調整された。

6日(木)に行われた6M物入札は、無難な結果となり、その後のセカンダリーマーケットでは小じっかりで推移した。7日(金)に行われた3M物入札は、事前予想に比べ強めの結果となり、その後のセカンダリーマーケットではショートカバーが見られるなど強い水準で推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス、石油・石炭、鉄鋼業など複数の業態で大型発行が行われた。

市場発行残高は、週を通して25兆円台で安定的に推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/3 (月)	37,785.47	1.405	150.51	0.477	0.477	5,276,300
3/4 (火)	37,331.18	1.420	149.22	0.476	0.486	5,229,500
3/5 (水)	37,418.24	1.440	149.80	0.476	0.480	5,198,600
3/6 (木)	37,704.93	1.515	149.19	0.476	0.462	5,204,100
3/7 (金)	36,887.17	1.520	147.95	0.477	0.482	5,195,600

来週（3月10日から3月14日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/10 (月)	1月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 1月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 1月の景気動向指数速報(内閣府 14:00) 2月の景気ウォッチャー調査(内閣府 15:00)	5Y 3/11発行 23,000億円			
3/11 (火)	1月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 10-12月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 2月のマネーストック(日銀 8:50)	10年債 3/21借入 7,438億円			
3/12 (水)	2月の企業物価指数(日銀 8:50) 1-3月期の法人企業景気予測調査季報 (内閣府・財務省共管 8:50)	20Y 3/13発行 10,000億円			2月の米消費者物価指数 2月の米財政収支
3/13 (木)					2月の米生産者物価指数
3/14 (金)		TB3M 3/17発行 45,000億円	流動性供給 3/17発行 5,000億円		3月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/10 (月) 日銀予想	500	9,600	10,100	CP買入 国債補完	▲ 100 4,900		4,800	14,900	TB3M発行▲45,000償還43,000 TB6M発行▲35,000償還35,000 10Y物価 償還12,400
3/11 (火) 弊社予想	1,000	▲ 26,000	▲ 25,000				0	▲ 25,000	5Y発行▲23,000 交付税借入▲12,000期日12,000
3/12 (水) 弊社予想	1,000	1,000	2,000				0	2,000	源泉税揚げ
3/13 (木) 弊社予想	500	▲ 10,000	▲ 9,500				0	▲ 9,500	20Y発行▲10,000
3/14 (金) 弊社予想	▲ 500	5,000	4,500				0	4,500	
週間合計	2,500	▲ 20,400	▲ 17,900	—	4,800	0	4,800	▲ 13,100	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、レートは0.475~0.478%近辺での推移が予想される。債券レポGC T/N物は、0.40~0.50%程度での取引が予想される。短国市場は、14日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、五・十日による発行集中日が予定されており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では10日(月)に1月の毎月勤労統計調査速報、1月の国際収支、11日(火)に10-12月期のGDP 2次速報、12日(水)に、2月の企業物価指数、1-3月期の法人企業景気予測調査季報、海外では12日(水)に2月の米消費者物価指数、2月の米財政収支、13日(木)に2月の米生産者物価指数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。